

(別記様式第15号)

令和3年度みんなで支える里山整備事業進捗状況報告書

事業 主体名	信州上小森林組合 実務者(説明者)氏名： 山崎 恭平
-----------	-------------------------------

No.	事業項目	事業名
9-1	森林を支える豊かな地域づくり	みんなで支える里山整備事業 (県民協働による里山整備)
事業費 5,545.1 千円 (うち森林づくり県民税：)		5,016.6 千円)

事業目的

(1) 地域の森林・林業の現状と課題

山林の手入れ不足による荒廃地の残存。

(2) 本事業の目的

社会情勢の変化の中で、地域における森林と人との関りが薄れてきたことにより、放置され荒廃した森林が増加している。このため、特用林産物の生産振興をはじめとする多面的な森林資源の利活用に資する森林整備を推進し、森林と地域の関係性を再生し、自立的・持続的な森林管理の構築に資するものとされている。

当実施場所では、手入れ不足となっている赤松林において、特用林産物が採取できる付近の不用木除去枯損木除去を行い、特用林産物の生産振興を行う。

事業内容

(1) 実施場所 上田市 生田

(2) 対象者 森林所有者

(3) 実施方法 修景林間整備、森林作業道整備

(4) 事業目標及び当年度事業量

①全体計画(3年度～3年度) R3年度 修景林間整備 14.99ha 森林作業道開設 1,000m

②令和3年度進捗状況

B



事業効果

(1) 事業実施による効果

(事業目的に対応する効果について記載)

不用木除去、枯損木除去を実施することにより、林内の光量を調整し、特用林産物の発生促進に繋げる。また、森林作業道整備を同時に行うことにより、地域住民が林内へのアクセスを容易にする。

(2) 継続性

(事業又は事業効果の継続性、発展性について記載)

事業実施により、地域住民が継続的に入山する機会が増え、特用林産物の継続発生のため、自ずと山林手入れが進められる。

(3) 普及性

(事業の効果が県民等の目に見える形で発現されるものであることについて記載)

特用林産物を販売することにより、県民のニーズに応える。

事業の検証及び評価

(1) 目標に対する成果の状況

(2) 課題

(3) 次年度以降の取組方向

事業を現行どおり継続する

(今後の事業実施見込について記載)

事業内容を見直して継続する

(見直し内容及び今後の事業実施見込について記載)

事業を継続しない

(継続しない理由を記載)

事業の制度等に対する要望等

-
-
-
-